

平成20年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」
意見交換会(関東・甲信越地区)

2009年2月19日 東京ガーデンパレス

元気なキャンパスをつくり出す仕掛けの創出
— “治療”から“予防”へのパラダイム転換 —

松本大学松商短期大学部

学長代行 住吉 廣行

1

§ 1. 学生支援に対する現在の基本的考え方

(1) 理念・目標

社会人としての資質



- ① 資格取得など仕事遂行能力
 - ② 幅広い視野・教養と社会性の獲得
 - ③ 異質(世代・地域・文化)とのコミュニケーションなど
 - ④ 協働の姿勢(プレゼンテーション、ホスピタリティ精神)
- を付加価値として身に付けることを支援し、

“地域社会の幸せづくり”に貢献できる人づくりを目指す

2

§ 2. 学生支援に対する現在の取組状況

- 2. 1 入学前から卒業までの一貫性
- 2. 2 部署間の連携による総合的・体系的取組
— 近い、教職員と学生の距離 —
- 2. 3 学ぶ意欲を育む帰納的教育手法

学生への認識

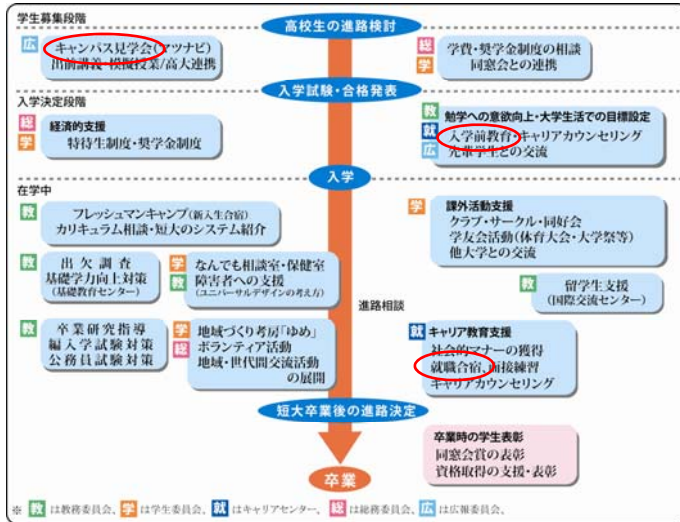


図3. 本学の学生支援の取組とその背景

- 課題1 現実社会への認識
- 課題2 コミュニケーション力・プレゼンテーション力
- 課題3 知的好奇心、挑戦、自信
- 課題4 基礎学力 入試の多様化

現在の基本的な取組の状況 時系列での対応

資料 図1



- ・修学支援・初年次教育 F-U制/入学前導入教育
- ・健康・メンタルヘルス 健康安全センター
- ・就職支援 合宿/キャリアカウンセリング
- ・経済的支援 特待生入試(経済的指標)
- ・課外活動支援 同窓会賞
- ・学生生活支援 保険加入・安全運転講習
- ・留学生支援 日本語スピーチコンテスト 母国語でのHP作成協力
- ・障がい者支援 UD

組織性 - 委員会とゼミの連携 -

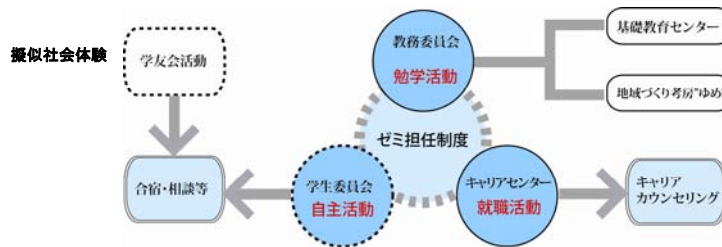


図1. ゼミナールを中心に組織化された学生支援体制

分野別 個別対応 課題別

各種委員会—ゼミナール担当orクラブ顧問—各種センター(含地域づくり考房)

幾重にも包囲された総合的學生支援網(痒い所に手が届く! オーダーメイドの支援)

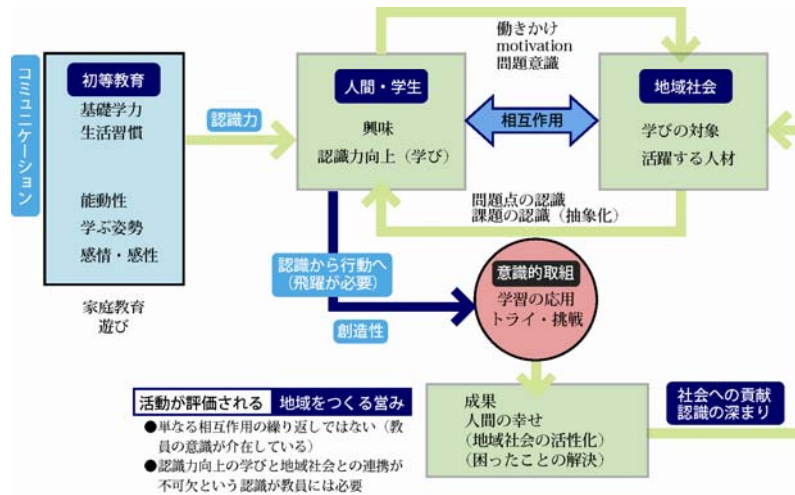
↓

教職員と学生との距離が近く、面倒見の良い、しかも就職に強い伝統校

↓

退学率の低さ 就職率の高さ 好調な学生募集

研究的要素を持つ帰納的教育手法



§ 3. 新たな社会的ニーズに対応した取組

3. 1 受動から能動へ、発想の転換
—CSから協働へ—
3. 2 学生に負荷を課して育てる
—いくつかの事例—
3. 3 SDによる職員のスキルアップと
教職員間の連携強化で
元気溢れるキャンパスの土壌づくり

新たな取組

趣旨・目的



これまでに築いてきた学生との信頼関係、教職員の前向きな連携

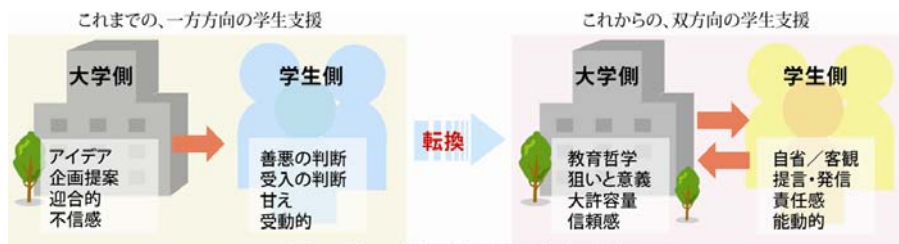


図7. 新しい取組に求められる姿勢の転換

- ・ 学生は大学を構成する一つのセクターである。
- ・ 大学を創り上げるプロセスに教職員とともに参画するパートナー
- ・ 学生に負担を課す(責任を持たせる)からこそ学生がより成長できる。

学生に負荷をかけて育てる ー創意と工夫、提言ー

就職活動を控えた後輩に経験談を語るOB・OGや先輩の現役学生



広報委員会と共に活躍するM@tsu.navi (マツナビ)

学生に負荷をかけて育てる ー振り返りと準備、改善ー



入学前教育で
ファシリテーターを
務める先輩の現役
学生



地域の方にパソコンを教える情報
センターの学生スタッフ



地域の福祉施設と協力して循環型
社会の形成に取り組む

自主活動と学生間交流 ー武者修行ー

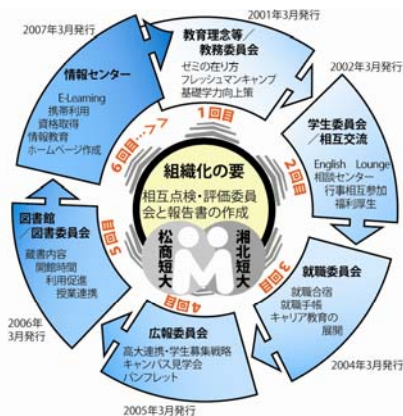


図2. 湘北短期大学との相互点検・評価活動の経過



独自性(工夫内容)

—学生参画で元気なキャンパスを創り出す—

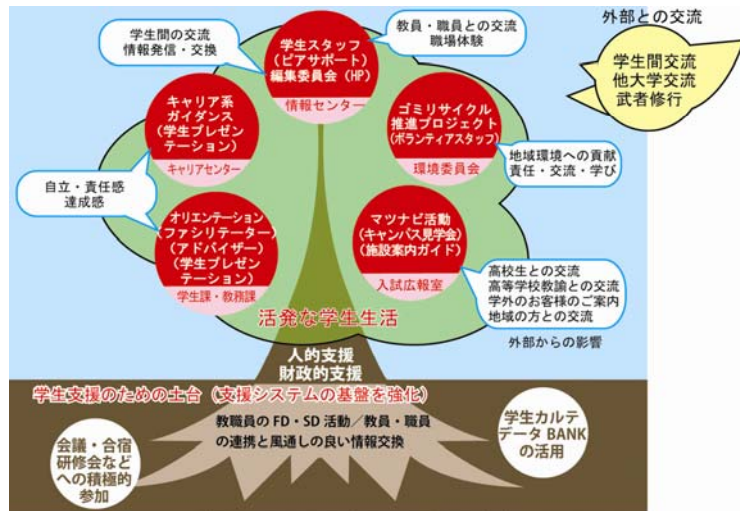


図8. “予防”的対応とそれを支える基盤整備の概念図

学生支援のための基盤強化+学生参画への多様なルート(関与できる場面を広げる)

取組の進捗状況

(1) GPの趣旨説明



リーダー研修会

(2) 意欲的な姿勢



常任委員会リーダーズキャンプ

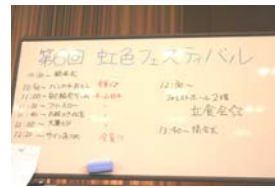
取組の進捗状況

(3) 広がる学生間交流



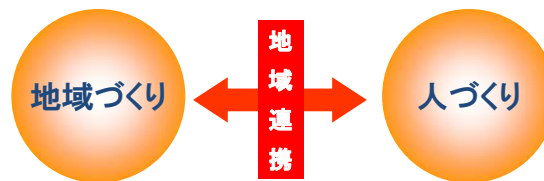
県内キャンパス交流会

(4) 充実を目指して



虹色フェスティバル

§ 4. おわりに



- 若者に魅力溢れる街・地域づくり
- 若者が魅力感じる大学づくり
- 誰もが安心して、豊かに暮らせるコミュニティの創出
- 「幸せづくり」の松本大学の本領発揮
- 産・官・学連携で、地方ならではの魅力を
地方から情報発信

松本大学松商短期大学部からのメッセージ

- (1) 学生を中心に据えて
- (2) 学生の現状把握 ー学生参画ー
- (3) 地域社会との信頼関係
- (4) 学内での雰囲気づくり ーベクトルを揃えてー
- (5) 大学運営を楽しむ余裕

学生とともに元気溢れるキャンパスを



ご静聴ありがとうございました。